

北里大学 公開講座

2025年度



この講座は、あおもり県民カレッジの単位として認められます。

単位数:16単位
学習分野:学術・教育

北里大学は北里柴三郎博士を学祖として仰ぎ、北里精神は脈々と引き継がれています。



特別講演

とわだ市民カレッジと共同開講

第1回 7月17日(木)

十和田市民文化センター 生涯学習ホール
18:40~20:10

体内時計と
時間栄養学

国立研究開発法人産業技術総合研究所
細胞分子工学研究部門 上級主任研究員 大石 勝隆



特別講演

とわだ市民カレッジと共同開講

第2回 7月31日(木)

十和田市民文化センター 生涯学習ホール
18:30~20:00

ビックデータから
読み解く社会の法則

東京大学大学院工学系研究科(工学部)
特任准教授 浅谷 公威



講座【全8講座】

期 間 令和7年7月17日(木)~9月18日(木)

会 場 北里大学獣医学部 111教室

●特別講演など一部、時間・場所が変わります。

(第1回講座・第2回講座/
十和田市民文化センター 生涯学習ホール)

受講料 無 料

事前の申し込みは必要ありません。
どなたでも気軽に受講できます。

全8講座の講師陣・講義内容・会場等の詳細については裏面をご覧ください。

お問い合わせ

北里大学公開講座実行委員会
(北里大学獣医学部内)

〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1

電話 (0176)23-4371(代表)

いのちと環境を科学する
2025

主催 北里大学公開講座実行委員会

共催 北里大学獣医学部・十和田市教育委員会

2025年度 北里大学公開講座プログラム

いのちと環境を科学する2025

第1回 7月17日(木) 十和田市民文化センター 生涯学習ホール 18:40~20:10

開講式 18:30~18:40



体内時計と栄養学

国立研究開発法人産業技術総合研究所
細胞分子工学研究部門 上級主任研究員
おおいし かつたか

大石 勝隆

特別講演

時間栄養学は、「何をどれだけ食べるべきか」という従来の栄養学に、「いつ食べるべきか」という新たな視点を取り入れた研究分野です。時間栄養学の知見を日常の食生活に生かすことにより、睡眠障害やうつ病、生活習慣病などの様々な疾患の発症予防や改善のみならず、寿命の延長にもつながるものと期待されています。本講座では、体内時計の仕組みについての概説とともに、健康長寿社会の実現に向けての時間栄養学の可能性について紹介します。

第2回 7月31日(木) 十和田市民文化センター 生涯学習ホール 18:30~20:00



ビックデータから読み解く社会の法則

東京大学大学院工学系研究科(工学部)
特任准教授
あさきた きたか

浅谷 公威

特別講演

人の行動や著作物が記録されたビックデータから社会の法則を探る「計算社会科学」について紹介します。人の移動やフェイクニュースの広がりなどの社会一般にある法則性やそれらの発見プロセスを紹介します。後半では、学術論文データの解析に焦点をあて、基礎研究者の重要性や日本の科学が直面する課題について紹介します。

第3回 8月7日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



十和田市における自然と人との接点を計る

里山環境学 准教授
かきの わたる

柿野 亘

十和田市には、「水の都」といってよい程の健全な水の恩恵があります。この恩恵を100年以上先まで保つにはどうしたらよいでしょうか？本講座では、市内複数の小学校児童達との水域の保全事例や当該水域に生息する生きものの生態を紹介し、今後の保全方策や自然との接点になり得る諸活動について考えたいと思います。

第4回 8月21日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



ブタの遺伝資源を守る・活用する！

獣医臨床繁殖学 教授
きくち かずひろ

菊地 和弘

家畜は生産性や経済性を求めて育種改良されており、代表的な品種が数多く飼われています(乳牛ではホルスタイン種)。一方で、その地域の飼養環境に合う品種が少数維持されていますが、徐々に消滅しています。これらは貴重な遺伝資源です(ブタでは約200品種)。希少な遺伝資源を守る意義や新たな活用法について考えます。

第5回 8月28日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



空から海をのぞいてみたら？ ～リモートセンシングによる藻場調査～

リモートセンシング 講師

むらた ひろき
村田 裕樹

人工衛星やドローンが撮影したデータを使って、水深の浅い海域に生息する海草・海藻の藻場分布を調査しています。今回は、地域住民によるシチズンサイエンスの普及への期待を込めて、これまで三陸の海で行ってきた藻場調査の取り組みをご紹介します。

第6回 9月4日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



医療・福祉・教育のためのウマの活用

動物行動学 准教授

まつうら あきひろ
松浦 晶央

イヌやネコを愛でたり撫でたりして癒された経験のある人は多いのではないのでしょうか？十和田は古くからウマのまちとして栄え、十和田市民のウマに対する意識はとても高いですが、人の健康に貢献するウマの活躍についてはあまり知られていません。本講座では、人の生活の質(Quality of life: QOL)向上を目指したウマの活用をご紹介します。

第7回 9月11日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



見えないが面白い ～放射線の世界～

獣医放射線学 准教授

かきざき たけひこ
柿崎 竹彦

放射線の世界はとても楽しい。見えない世界の妄想にハマった演者が、放射線の基本から日常生活での応用、特に人だけでなく動物の医療や科学研究における重要性について解説します。放射線の見えない力がどのように私たちの生活を支えているかを探ります。

第8回 9月18日(木) 北里大学獣医学部 111教室 18:30~20:00



精子のヒミツに迫る！ ～最新の研究と身近な話題～

細胞工学 助教

かきうち かずえ
垣内 一恵

男性の精子濃度はこの45年間で約半減し、環境ホルモンの影響や生活習慣の変化が要因ではないかと考えられています。また父親の加齢による子の神経発達障害リスクも指摘されており、精子の凍結保存や生殖補助医療技術の安全性も議論されています。精子をめぐる多様な問題について、今こそ一緒に考えてみましょう。

終了後 閉講式